授業科目名	歴史学入門ゼミ	単位数	2単位
担当教員名	堀川　徹	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係

DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）
DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる（継続力）

授業のテーマ及び到達目標

【授業のテーマ】
身近なもの/できごとについて、歴史的文脈のなかで捉える。

【到達目標】
・歴史の中にもの/できごとを位置づけ、理解・説明することができる。
・問題意識をもって主体的に学ぶことができる。
・適切な資料を用いて自身の考えを説明することができる。

授業の概要

本ゼミナールは、教科書にとどまらない、身近なもの/できごとについて、歴史的文脈のなかで捉える実践的内容で、演習形式にて実施する。興味・関心のある身近なもの/できごとを対象として、その歴史について調べたものを発表してもらう。
テーマとして、例えばアニメ、漫画、Eスポーツ、J-POPなどのポピュラー音楽など、中高の歴史では扱われないものを扱うことを想定している。

授業計画

第１回：歴史学的に捉えるとはどういうことか（講義）＋発表のテーマ設定
第２回：資料収集および発表資料の作成。
第３回：資料収集および発表資料の作成。
第４回：資料収集および発表資料の作成。
第５回：自ら選択したもの/できごとに関する概要及び歴史的背景についての発表(1)
第６回：自ら選択したもの/できごとに関する概要及び歴史的背景についての発表(2)
第７回：自ら選択したもの/できごとに関する概要及び歴史的背景についての発表(3)
第８回：資料収集および発表資料の作成。
第９回：資料収集および発表資料の作成。
第１０回：資料収集および発表資料の作成。
第１１回：自ら選択したもの/できごとの影響及び歴史的意義についての発表(1)
第１２回：自ら選択したもの/できごとの影響及び歴史的意義についての発表(2)
第１３回：自ら選択したもの/できごとの影響及び歴史的意義についての発表(3)
第１４回：発表資料の修正および追加の調査。
第１５回：まとめ
科目修得試験

スクーリングでの学修

※スクーリングは第1回・第5回～第7回・第11回～第13回を実施する。
※受講生の発表および質疑応答。受講生は、受講生数にもよるが本ゼミナールにおいて2回以上の発表を予定している。

テキスト

なし。初回授業のみ教員から資料を配布する。シラバス第５回～第７回、シラバス第１１回～第１３回は受講生が用意する発表レジュメが資料となる。

参考書・参考資料等

適宜スクーリング内で紹介する。

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）